

群馬県立高崎高等学校(全日制)学校評価一覧表①(平成30年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価		第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート	自己評価	外部アンケート	
I 3F精神に根ざす活力ある高生を育成し、活気にあふれた特色ある学校づくりを進めていますか。(全体・生徒部)	1 生活規律の確立	① 各学期1回挨拶週間を設定する。 ② 移動教室や集会の行動を早めチャイムスタートを徹底する。 ③ 全校生徒のフィルタリングの徹底・非公式サイト未登録。	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする習慣を身につけさせるために、全職員をあげて挨拶運動を行う。 時間に余裕を持った行動を指導する。 他者を思いやる行動や言動を身につけさせ、IT機器の適切な利用について指導を徹底する。 					
	2 交通安全の推進	④ 雨合羽着用率100%。 ⑤ 交通事故・苦情0件。 ⑥ 自転車の盗難・いたづら・無施錠0件。		<ul style="list-style-type: none"> 雨天時の雨合羽着用を徹底させる。 登下校やマナーアップ運動を通しての交通安全指導を組織的に行う。 自転車駐輪場所の遵守、施錠の徹底を図る。 				
	3 教育相談業務の充実	⑦ 毎週教育相談・生徒部会議の実施。 ⑧ 教育相談係を中心にチームとして協力し抱え込み防止。 ⑨ 生徒・保護者がSCを有効活用するためのマネジメントを教育相談係を中心に行う。 ⑩ いじめの発生防止に努め、いじめ解消率が100%である。		<ul style="list-style-type: none"> 教育相談会議・生徒部会議にて情報交換を図り、連携を図る。 チームでの支援体制を確立する。 SC等への紹介・家庭訪問・面接・他 機関への連絡などを通し担任・学年が必要とする支援を行う。 SCへ生徒状況の報告、SCからのアドバイスの伝達、SCと生徒・保護者との面接がスムーズな環境の整備によりSCとの協働を図る。 				
	4 生徒会活動の充実	⑪ 定期戦ホームでの72回大会の勝利・翠巒祭の成功。 ⑫ 部活動加入率の増加・高校総体優勝。 ⑬ 年1回以上の地域の清掃活動・全校生徒による古紙回収		<ul style="list-style-type: none"> 生徒会総務及び実行委員等と連携を図り、意思疎通を密に図りながら、各行事の指導・助言を行う。 部・部顧問との連携を強化し、施設等の効率的な活用を推進しながら全国大会出場種目を増やす。 ボランティア活動を全校で積極的に取り組めるよう、生徒会総務を中心に活動を進め、地域と連携を図っていく。 				
II 健康と安全への理解を深め、学習環境と教育設備の整備に努めていますか。(保健環境部・事務部)	5 健康な身体と健全な精神を育成するため、自主的・積極的に心身を鍛えることができる資質・能力を養う。	⑭ 「保健だより」を定期的に発行する。 ⑮ 家庭に向けての受診の呼びかけを強化する。	<ul style="list-style-type: none"> 「保健だより」やその他の健康関連情報を適宜発信する。 生徒の健康状態・定期健康診断の結果を踏まえ、必要に応じた処置や受診指導を行う。 					
	6 健康的で落ち着いた集団生活を維持するために、安全で衛生的、かつ快適な学習環境を整備する。	⑯ 保健委員による校内巡視を毎月実施する。 ⑰ 学習環境が快適であると感じている生徒が80%以上。		<ul style="list-style-type: none"> 職員及び生徒保健委員による校内巡視や環境測定を定期的を実施し、衛生的で安全な学習環境を維持する。 冷暖房や照明等の適切な使用の指導、及び施設・設備の点検・整美を行い、必要に応じて机や椅子などの入れ替えに対応する。 				
	7 校内美化の推進及びゴミの分別・減量を徹底し、リサイクル活動に取り組み、省エネエコ活動を推進する。	⑱ ゴミの分別の徹底。		<ul style="list-style-type: none"> 清美委員によるゴミの分別指導をさらに充実させる。 家庭内から持ち込んだ物のゴミの持ち帰りを徹底させる。 				
	8 防災意識を高める。	⑲ 訓練時の行動に関する生徒の自己評価が90%以上。		<ul style="list-style-type: none"> 防災避難訓練当日だけでなく、日頃から防災意識を高める。 				
III PTA・同窓会・地域と連携し、本校の教育活動を発展させていますか。(広報渉外部)	9 PTA・同窓会・地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。	⑳ PTA総会の出席率が50%を超える	<ul style="list-style-type: none"> PTA総会の内容を充実させる。 PTA総会時の駐車場をさらに確保する。 					
	10 情報管理を徹底した上で、情報モラルについて機会がある毎に職員に情報を提供し、セキュリティ意識の向上を図るとともに、必要な情報は、Webページ等を利用し積極的に発信する。	㉑ 職員の情報セキュリティ意識の向上を図る。 ㉒ 随時Webページを更新する。		<ul style="list-style-type: none"> 機会ある毎に、モラルやセキュリティに関する情報を職員に提供する。 Webページ担当者は、早い時期にホームページビルダの利用方法とWebページ更新手順に慣れる。 				

群馬県立高崎高等学校(全日制)学校評価一覧表①(平成30年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価		第2回 点検・評価				
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート	改善策	自己評価	外部アンケート	改善策	
IV 質が高く、内容が豊かな「力のつく授業」を展開し、学力を向上させていますか。(教務部)	1 1 適切に授業時間を確保し、力のつく教育課程を編成し実施する。	㉓ 臨時時間割の、行事前の日程に余裕をもった提示と、入替えの、年間行事予定表への記載		<ul style="list-style-type: none"> 行事等における臨時時間割の編成・曜日間の授業の入替え・授業カット時のローテーションを、年間を通して計画的かつ円滑に実施する。 学年・SSH部・進路部・生徒部との連絡を密にし、学校行事と諸活動を充実した意義あるものにするとともに、授業時間を適切に管理する。 教科の枠を超えた教員同士の授業参観と指導方法の研修を推進する。 シラバスの活用に努める。 教務関係業務について見直しを進め、ミスの起こらない工夫・手立てを考え、実行に移す。 						
	1 2 校内諸活動計画の調整を行う。	㉔ 調整ミスによる直前の計画変更や、当日の中止といった事態を起こさないこと。								
	1 3 教員個々及び集団としての教科指導力の向上と授	㉕ 年2回以上の実施。 ㉖ 新しいシラバスを評価する生徒が80%以上。								
	1 4 成績処理・各種教務関係書類作成等の事務を正確かつ適正に実行する。	㉗ 教務部の係ごとの打合せ回数を増やすこと。								
V 3年間を見通したキャリア教育を推進し、進路目標を達成した上で、自己実現を図っていますか。(進路部)	1 5 高い志を育成し、学ぶ意味を知り、自ら学ぶ生徒を育てる。	㉘ 学習時間の向上 部で活動中：平日平均学習時間 最低でも2.5時間 部活引退後：平日平均学習時間 最低でも3.5時間 ㉙ 1年次：志(どのように社会貢献をするか)と夢(何をやりたいか)の明確化 2年次：学部・学科の明確化と志望大学の決定 3年次：受験大学の確定 ㉚ 志と夢、志望大・学部・学科の明確化。 ㉛ 志、夢を叶えるための具体的道筋の理解。	<ul style="list-style-type: none"> 各授業で、学ぶ意味を共に考える。 進路行事・講演会の質を高め、志を育て、夢を育む。 各種行事への参加。 各種面談をし、生徒に自信を持たせる。 							
	1 6 学力・進学実績の向上を達成する。	㉜ 授業観察・授業研修と生徒によるアンケートの活用 模試の成績向上 1年次：英数国総合ベネッセ偏差値 65 2年次：英数国総合ベネッセ偏差値 65 3年次：英数国総合ベネッセ偏差値 62 ㉝ 教師・生徒の信頼関係の向上		<ul style="list-style-type: none"> 教科指導力の向上。 現状分析と迅速な対応と3年間を見通した指導。 教科・学年内での意思統一と目標の共有。 						
	1 7 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、主体的に学ぶ態度の基盤を主として課題研究Ⅰの活動を通して育成する。	㉞ 職員間で具体的に育成すべき生徒像を共有できている状態で課題研究Ⅰの指導に職員があたっている。 ㉟ 1学年の70%が1学年の課題研究終了時にPDCAサイクルを1巡できている。			<ul style="list-style-type: none"> 1学年においてはルーブリックを早期に提示し、職員間の協議の場を研修等で設けることを定例化する。 					
1 8 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、主体的に学ぶ態度を主として課題研究ⅡⅢの活動を通して深化させる。	㊱ SSHクラスの80%が3学年の課題研究終了時にPDCAサイクルを1巡できている。 ㊲ 統計学や数理モデルの考え方を活用した課題研究を行う生徒が複数グループ現れている。	<ul style="list-style-type: none"> 2学年においては、1学期の段階で物理化学数学等において2時間単位で終了する簡単な課題研究の型を示しながら、統計学や数理モデルの活用法を少人数で示すようなカリキュラムを開発し、実践する。 SPの時間だけでなく、上記の内容をSSH物理Ⅰや化学、数学ⅡBとも連携して実施し、論文やポスターの作成時間を十分に確保する。 								
1 9 スーパーサイエンス部の活動を普及させ、科学に対する興味関心を向上させるとともに、自己実現に向けて主体的に学ぶ態度を育成する。	㊳ SSH事業を多くの生徒が享受できる状況あり、多くの生徒がSSH事業の課外講座に参加できるようにする。 ㊴ 科学の甲子園などの科学コンテストにおいて全国大会に出場する団体が2つ以上である。		<ul style="list-style-type: none"> スーパーサイエンス部に登録した部員だけに情報を提供するのではなく、全生徒に提供し、講座毎に参加を希望する生徒で行うようにする。 							
VII 読書習慣を形成し、図書館活用の活性化を図っていますか。(広報渉外部)	2 0 生徒の読書習慣を早期に育成するとともに、図書館利用の活性化と蔵書管理を徹底する。			㊵ 生徒の読書習慣を早期に育成する。 ㊶ 図書館利用の活性化と蔵書管理を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> 新入生への読書オリエンテーション及び授業で図書館を活用することで、読書への関心を高める。 					
	2 1 図書委員会の活動を充実させる。	㊷ 図書委員会の活動が活発である。		<ul style="list-style-type: none"> 図書館主催の行事・発行物の充実を図る。 						
	2 2 SSH課題研究論文の作成を支援する。	㊸ SSH関連図書を100冊以上収蔵する。	<ul style="list-style-type: none"> SSH関連図書の整備と活用促進を図る。 							